

(3) 3 学 年 : 29 期 生

基礎分野

科目	文学	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 講師	田中洋子 タナカ ヨウコ																																																												
	Literature	実施時期	3年次 通年																																																														
授業概要	<p>優れた文学作品を通して、人間とは何かを見つめ、そこに表されたさまざまな生き方を学び、豊かな感性を育てていく。</p> <p>近代以降の短編を中心に読み、社会・異文化との関わりに触れ、普遍的な人間の内面についての考察を深めていく。</p>																																																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>文学概論 I</td> <td>文学の役割</td> <td>多様性～ものに寄せる心～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>II</td> <td>言葉に寄せる思い・言葉の力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>人間と文明</td> <td></td> <td>文明との関わり・環境汚染</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>石牟礼道子の作品を読む</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>人間と社会</td> <td></td> <td>社会の構造と人間の感情 葉山嘉樹の作品を読む</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>人間の内面世界 I</td> <td></td> <td>家族との関係性(1) 辻邦生の作品を読む</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>家族との関係性(2) 郷静子の作品を読む</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>家族との関係性(3) 異文化の理解 翻訳文学(1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>人間の内面世界 II</td> <td></td> <td>登場人物の心理(1) 芥川龍之介の作品(1)を読む</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>芥川龍之介の作品(2)を読む</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>登場人物の心理(2) 異文化の理解 翻訳文学(2)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td>翻訳文学(3)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>人間と自然</td> <td></td> <td>日本人の自然観 柳田国男の作品を読む</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td>宮沢賢治の作品(1)を読む</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td>宮沢賢治の作品(2)を読む</td> </tr> </table>					1	文学概論 I	文学の役割	多様性～ものに寄せる心～	2		II	言葉に寄せる思い・言葉の力	3	人間と文明		文明との関わり・環境汚染	4			石牟礼道子の作品を読む	5	人間と社会		社会の構造と人間の感情 葉山嘉樹の作品を読む	6	人間の内面世界 I		家族との関係性(1) 辻邦生の作品を読む	7			家族との関係性(2) 郷静子の作品を読む	8			家族との関係性(3) 異文化の理解 翻訳文学(1)	9	人間の内面世界 II		登場人物の心理(1) 芥川龍之介の作品(1)を読む	10			芥川龍之介の作品(2)を読む	11			登場人物の心理(2) 異文化の理解 翻訳文学(2)	12			翻訳文学(3)	13	人間と自然		日本人の自然観 柳田国男の作品を読む	14			宮沢賢治の作品(1)を読む	15			宮沢賢治の作品(2)を読む
1	文学概論 I	文学の役割	多様性～ものに寄せる心～																																																														
2		II	言葉に寄せる思い・言葉の力																																																														
3	人間と文明		文明との関わり・環境汚染																																																														
4			石牟礼道子の作品を読む																																																														
5	人間と社会		社会の構造と人間の感情 葉山嘉樹の作品を読む																																																														
6	人間の内面世界 I		家族との関係性(1) 辻邦生の作品を読む																																																														
7			家族との関係性(2) 郷静子の作品を読む																																																														
8			家族との関係性(3) 異文化の理解 翻訳文学(1)																																																														
9	人間の内面世界 II		登場人物の心理(1) 芥川龍之介の作品(1)を読む																																																														
10			芥川龍之介の作品(2)を読む																																																														
11			登場人物の心理(2) 異文化の理解 翻訳文学(2)																																																														
12			翻訳文学(3)																																																														
13	人間と自然		日本人の自然観 柳田国男の作品を読む																																																														
14			宮沢賢治の作品(1)を読む																																																														
15			宮沢賢治の作品(2)を読む																																																														
評価	定期試験及び提出物で総合的に評価する。																																																																
使用テキスト	プリント使用																																																																
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石井和夫 編『近代文学読本』 双文社出版</li> <li>・ 『大学で読む現代の文学』 双文社出版</li> <li>・ 近代文学鑑賞会編『近代の短編小説』 おうふう</li> <li>・ その他 講義の中で適宜紹介する。</li> </ul>																																																																

基礎分野

科目	芸術(音楽)	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 講師	勝山真弓 カツヤママユミ
	Art	実施時期	3年次 通年		
授業概要	音楽療法は、医療・福祉・教育の各領域で提供されている。在宅医療が展開されている現在、看護師は医療的ケアが必要とされるクライアントとの音楽療法の実践は欠かすことのできない存在である。本授業では、人々の日常生活に密着している「音楽」を再考するとともに、音楽療法士が実際に音楽をどのように利用し、クライアントのwell-beingにつなげているのかにふれることを通じて「音楽療法」の理解を深め、看護の視点から音楽療法について考えることを目的とする。				
授業計画	内 容			ね ら い	
	1	あなたがイメージする音楽療法とは		自己理解	
	2	わたしにとっての音楽 (1)	※グループワーク		
	3	道具としての音楽 (1)	※グループワーク		
	4	高齢者 (1) 予防的実践から		他者(クライアント/患者)理解	
	5	高齢者 (2) 認知症のクライアントとの実践から			
	6	神経変性疾患 パーキンソン病のクライアントを中心に			
	7	重症心身障害児・者 (1)	※グループワーク		
	8	重症心身障害児・者 (2)	在宅における呼吸器装着の障害者との実践から		
	9	重症心身障害児・者 (3)	在宅における先天性障害児との実践から		
	10	クライアントの日常生活と音楽	※個人ワーク	生活世界への配慮を考える	
	11	緩和・グリーフと音楽療法		音楽療法における関係性を知る	
	12	道具としての音楽 (2)	※グループワーク	音楽と感情について考える	
	13	看護と音楽療法 (1) 医療との繋がり		看護への応用を考える	
	14	看護と音楽療法 (2) 環境への配慮	※個人ワーク		
15	看護と音楽療法 (3) ケアとしての実践				
評価	1 テーマ「看護する立場から考える音楽療法」についてレポートする		40%		
	2 授業参加度及び授業内小レポート		60%		
テキスト	テキスト無し 授業内に必要に応じてプリントを配布する				
参考図書	浜渦辰二編、『<ケアの人間学>入門』、知泉書簡、2005。 P.N.ジュスリン&J.A.スロボダ編、『音楽と感情の心理学』、誠信書房、2008。 仁科エミ、河合徳枝、『音楽・情報・脳』、放送大学教育振興会、2013。 日野原重明監修、『音楽療法ハンドブック 看護と福祉領域のための』、未来プロジェクト、2015。 W.B.デビス、K.E.グフェラー、M.H.タウト編、『音楽療法入門 理論と実践 I』、一麦出版社、2015。 B.スティーゲ、R.E.オーロ、『コミュニティ 音楽療法への招待』、風間書房、2019。 アントニオ・ダマシオ、『進化の意外な順序』、白揚社、2019。				

専門基礎分野

科目	保健医療論	単位数 (時間)	2単位 (30時間)	担当 講師	ヤマモトヨウコ 山本洋子
	Health Care Theory	実施時期	3年次 通年		
授業概要	<p>人々の健康の維持・増進のために必要な保健・医療・福祉の統合という今日的課題を軸に、その現状、背景、問題点などを知り、専門職として社会に貢献する方向性や視点について学ぶ。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療と看護の原点</li> <li>2        "</li> <li>3 医療の歩みと医療観の変遷</li> <li>4        "</li> <li>5 私たちの生活と健康</li> <li>6        "</li> <li>7        "</li> <li>8 科学技術の進歩と現代医療の最前線</li> <li>9        "</li> <li>10 現代医療の新たな課題</li> <li>11       "</li> <li>12 医療を見つめ直す新しい視点</li> <li>13       "</li> <li>14 保健・医療・福祉の潮流</li> <li>15       "</li> </ol>				
評価	<p>定期試験の結果により評価する。</p>				
使用テキスト	<p>系統看護学講座 別巻 総合医療論 医学書院</p>				
参考図書					

専門基礎分野

科目	公衆衛生学	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 講師	オホウリカネオ 大堀兼男 サノシツアキ 佐野満昭
	Public Health	実施時期	3年次 後期		
授業概要	公衆衛生に関する統計情報を通して環境と健康とのかかわりを学び、組織的保健活動の意義を理解できるようにする。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公衆衛生学概論</li> <li>2 人口・保健統計</li> <li>3 疫学</li> <li>4 環境保健</li> <li>5 環境保健</li> <li>6 地域保健</li> <li>7 産業保健</li> <li>8 学校保健</li> </ol>				
評価	定期試験の結果により評価する。				
使用テキスト	『シンプル衛生公衆衛生学』 南江堂 『国民衛生の動向』				
参考図書					

専門基礎分野

科目	社会福祉	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 講師	ヒラノ シンイチロウ 平野慎一郎 ヤマダ トモヤ 山田智也
	Social Welfare	実施時期	3年次 前期		
授業概要	<p>社会福祉は、現代社会において生み出されてくる生活問題に対応して、生存権を保障するための社会的な施策および活動として存在している。本講義では社会福祉の価値・目的を理解するとともに、施策や方法について具体的に uptake しながら、実践としての社会福祉を学ぶ。</p>				
授業計画	<p>1 第1章 生活と福祉 2 第2章 社会保障の概念・歴史・制度体系 3 第3章 わが国の社会保険制度 4 第4章 社会福祉の歴史と援助技術 5 第5章 社会福祉の諸制度と施策 6 第6章 社会福祉行政の仕組み 7 第7章 社会保障制度の動向 8 まとめ</p>				
評価	<p>担当講師が行う定期試験の結果及びレポートで総合的に評価する。</p>				
使用テキスト	<p>新大系看護学全書 健康支援と社会保障制度3 社会福祉 メヂカルフレンド社</p>				
参考図書	<p>「福祉の哲学 改訂版」阿部志郎／著 誠信書房 2008年06月 「日本 権力構造の謎(上・下)」カレル・ヴァン ウォルフレン／著 篠原 勝(翻訳) ハヤカワ文庫 1989年 「社会調査へのアプローチ」大谷信介／他著 ミネルヴァ書房 1999年</p>				

専門基礎分野

科目	関係法規	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	アカホリコウジ 赤堀港治
	Related Laws and Regulations	実施時期	3年次 前期		
授業概要	法のしくみ、憲法の基本原理、人間生活と法のかかわりについて学び、看護職に必要な法令を理解し、法的責任を自覚できるようにする。				
授業計画	1 人間の生活と法律 2 法律の基礎知識 3 // 4 健康支援と法律 5 // 6 健康活動に直接・間接に関与する法とその理解 7 // 8 //				
評価	定期試験の結果で評価する。				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度4 看護関係法令 医学書院				
参考図書	看護法令要覧				

専門分野Ⅱ

科目	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ Adult Nursing Training Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	単位数 (時間)	6単位 270時間	担当 教員	サクライシホ ノナカマキ 櫻井志保 野中真紀 ヒガシハラ シン イトウ 東原 慎 伊藤しおり 他
	実施時期	2年次 後期 3年次 通年			
授業概要	<p>成人看護学実習Ⅰ～Ⅲの3科目、各2単位90時間を実施する。</p> <p>Ⅰ 周手術期にある対象の健康問題を解決するための看護を学ぶ。</p> <p>Ⅱ 診察や検査、高度な治療を受けている対象者へのシャドウイングや援助を通し、対象者の捉え方や状況に応じた看護のありかたを考え、成人看護に対する知見を深める。</p> <p>Ⅲ その人らしさとは何かを考え続け、終末期に向かう患者の人生の最期の時を支えるQOL向上のための看護を学ぶ。</p>				
授業計画	<p>2～3名の小グループ編成で実習する。  臨地実習は8日間とし、学内実習期間を1日とする。  成人看護学実習ⅠとⅢでは患者を複数名グループで受け持ち看護を展開する。  成人看護学実習Ⅱでは、手術室、重症室、外来(透析室を含む)でのシャドウイングや看護師と援助を行う。  看護基本技術、成人看護学習得技術については別紙の技術到達水準を参照する。2～3名の小グループ編成で実習する。</p>				
備考	<p>実習準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習要綱及び実習記録などを準備する。</li> <li>・実習要綱を熟読する。</li> <li>・実習担当教員と連絡をとる。</li> </ul>				
評価	<p>実習要綱の内容に沿って、別紙評価表により評価する。</p>				
使用テキスト	<p>成人看護学概論、方法論Ⅰ～Ⅳ、成人看護技術演習で使用したテキスト、ならびに、紹介した文献や資料、講義ノート・資料など</p>				
参考図書	<p>解剖生理学、病態学、治療、検査、薬理などのテキストならびに資料など  今日の治療薬 南江堂 (アプリ版でも可)</p>				



専門分野Ⅱ

科目	老年看護学実習Ⅰ	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	ウチヤマ ユミ 内山 由美
	Geriatric Nursing TrainingⅠ	実施時期	3年次 通年		オオタ トモエ 太田 朋絵 マツシタ アミ 松下 亜美
授業概要	<p>老年期で、回復リハビリ期にある対象を受持ち、老年者に適した看護展開の実際を学ぶ。          老年者の退院後の生活について考えを視野に入れながら、チーム医療に参画する。</p>				
授業計画	<p>《実習1日目～8日目》          初日：オリエンテーション          対象に適した看護の焦点・持てる力を見出す。          老年期にある対象へのゴールを目指し、チーム医療に参画する。          計画を立案し、実施・評価・修正した看護計画を実施する。          自己の看護や学びをリフレクションする。          臨床判断しながら、自分の立案した看護計画を実施し、評価および修正をする。          自己の看護や学びをリフレクションする。</p> <p>《実習9日目》          自己の実践した看護を振り返り実習のまとめを発表する。</p> <p>6～7名のグループで学習する。          患者一人を受け持ち看護を展開する。医療チームの一員として看護する。          臨地実習は8日間、学内実習1日間とする。</p>				
評価	<p>別に記載する実習要綱の内容に沿って評価する。</p>				
使用テキスト	<p>老年看護学で使用したテキスト          成人看護学で使用したテキスト</p>				
参考図書	<p>薬剤・検査に関するテキスト</p>				

専門分野Ⅱ

科目	老年看護学実習Ⅱ	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	ウチヤマ ユミ 内山 由美
	Geriatric Nursing TrainingⅡ	実施時期	3年次 通年		オオタ トモエ 太田 朋絵 マツシタ アミ 松下 亜美
授業概要	<p>老年期にある対象を受持ち、老年者に適した看護展開の実際を学ぶ。          老年者の退院後の生活について考えを視野に入れながら、多職種と連携した看護を展開する。</p>				
授業計画	<p>《実習1日目～8日目》          初日:オリエンテーション          対象に適した看護の焦点・持てる力を見出す。          一次計画を立案し、実施・評価・修正した看護計画を立案する。          自己の看護や学びをリフレクションする。          臨床判断しながら、自分の立案した看護計画を実施し、評価および修正をする。          自己の看護や学びをリフレクションする。          退院後の生活に着目しながら看護計画を修正し、退院にむけたケアプランを考える。          自己の看護や学びをリフレクションする。</p> <p>《実習9日目》          自己の実践した看護を振り返り考察を発表する。</p> <p>2～4名の小グループ編成で学習する。          患者一人を受け持ち看護を展開する。医療チームの一員として看護する。          臨地実習は8日間とし、学内実習を1日間とする。</p>				
評価	<p>別に記載する実習要綱の内容に沿って評価する。</p>				
使用テキスト	<p>老年看護学で使用したテキスト          成人看護学で使用したテキスト</p>				
参考図書	<p>薬剤・検査に関するテキスト</p>				

専門分野Ⅱ

科目	小児看護学実習 Pediatric Nursing Training	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	マツウラトモヨ 松浦朋代 ヤマシタタイヘイ 山下泰平
	実施時期	3年次 通年			
授業概要	健康な小児および健康問題をもつ小児について知識・技術・態度を統合し、看護の実際を学ぶ。				
授業計画	<p>保育園実習 2日間 0～5歳児の保育の実際を通して発達段階および小児の特性を理解する。</p> <p>特別支援学校実習 1日間 障害のある小児との関わりを通して小児の特性を知る。</p> <p>小児科外来実習 1日間 外来受診を要する小児および家族を理解し、外来機能と役割を学ぶ。</p> <p>病棟実習 4日間 入院生活をする小児と家族との関わりを通して、健康問題や入院が及ぼす影響を理解し、発達段階・健康問題の段階に応じた看護の実際を学ぶ。</p> <p>学内実習 1日間 小児との関わりや各実習施設の学びを統合し、小児看護について理解する。</p>				
評価	実習時間の2/3以上の出席をもって評価の対象とする。 実習要綱の内容に沿って、ルーブリック評価表を用いて評価する。				
使用テキスト	<p>ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版</p> <p>ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版</p> <p>ナーシンググラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 メディカ出版</p>				
参考図書	<p>発達段階からみた小児看護過程 医学書院</p> <p>西本勝子・上野美代子・福島光子著:入院時の遊びと看護, 医学書院</p> <p>鴨下重彦・柳澤正義 監修:子どもの病気の地図帳, 講談社</p> <p>キャスリーンM. ピアス 編著:看護診断にもとづく小児看護ケアプラン第2版, 医学書院</p>				

専門分野 II

科目	母性看護学実習 Maternal-Child Nursing Training	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	スズキ サユカ 鈴木紗有香 フジワラ ヨシ子 藤原 依子
授業概要	<p>周産期にある母子とその家族を含む母性看護の対象の看護実践に必要な能力を養うことを目的とし全体論からの対象理解、援助過程の理解、および健康状態の評価に基づく対象特性を踏まえた援助を実践する。それらを通して母性看護の特性や生命の尊厳、母性観を深化発展させ、看護者の資質であるチームワーク力、コミュニケーションスキルを高め、ケアリングを実践していく。</p>				
授業計画	<p>&lt;1週目、2週目&gt; オリエンテーションを受け、外来・病棟において、妊娠期、産褥期、新生児期の看護、外来通院している母性看護の対象の看護を看護師と共に実施またはシャドーイングする。外来では妊婦を受け持ち、健康評価する。機会があれば分娩期の看護を看護師と共に実施またはシャドーイングする。 母子(褥婦と新生児)を受け持ち、クリニカルパスにそって健康評価し、個別的な援助を計画・実施・評価する。病院実習最終日は、評価面接を受ける。</p> <p>&lt;実習最終日&gt; 最終日は学内実習にて実践した看護計画を考察し、まとめた内容を発表する。その際、病棟指導者による助言を受ける。</p> <p>*実習スケジュールの詳細はオリエンテーション時に配布予定</p>				
評価	<p>2/3以上の出席を基に別紙評価基準により行う。 ただし、実習前アンケートを事前に提出し、実習開始前にオリエンテーションを受けていること、留意事項を遵守している場合に限る。</p>				
使用テキスト	<p>森 恵美他:系統看護学講座 専門分野II 母性看護学1 医学書院. 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野II 母性看護学2 医学書院. NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院. 横尾京子他:ナースング・グラフィカ母性看護学②母性看護技術 メディカ出版</p>				
参考図書	<p>井上 裕美、竹内 正人他:病気がみえる 産科 MEDIC MEDIA. 前原 澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ母性I 中央法規. 前原 澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ母性II 中央法規.</p>				

専門分野Ⅱ

科目	精神看護学実習 Psychiatric Nursing Training	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	マツオ コウジ 松尾浩司 ヨヤマ エリ 横山絵理
授業概要	<p>精神障害を有する人への専門的な治療及び支援方法を理解し看護を実践する。 また、地域で生活する精神障害を有する人々の社会的現状とその支援方法を知り、継続看護の必要性と個別支援を考える態度を養う。 さらに、臨地実習の経験を活かし、学びを振り返り、他者に表現することで自己の看護観を深める。</p>				
授業計画	<p>&lt;病棟実習&gt; 7日間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害を有する患者を受け持ち、自己の計画した看護援助を実践する。</li> <li>精神科病棟の特徴、治療、看護及び患者の特性を理解し患者に合った関わりをする。</li> <li>病棟の特性や患者層に合わせたレクリエーションの実践から集団精神療法とその看護について理解を深める。</li> <li>自己の看護実践や関わり(接近の方法や距離の取り方)を振り返り、自己の傾向を知るとともに対象理解に努める。</li> </ul> <p>&lt;作業所等実習&gt; 1日間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者を有する人々の社会的現状と地域で生活するための支援を知り看護の役割を考える。</li> <li>治療的コミュニケーション方法を利用し、地域で生活する精神障害を有する人々への接近方法や距離の取り方を実践するとともに対象理解に努める。</li> </ul> <p>&lt;学内実習&gt; 1日間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨地実習の学びを活かし、精神障害者に対する看護の共有や自己の考えを整理し、看護観を深める。</li> <li>精神障害者にも対応した地域包括ケアを踏まえた精神障害者への看護について検討し、発表する。</li> </ul>				
授業評価	別に提示する評価規準により行う				
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1] 医学書院          系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学[2] 医学書院          看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術 メヂカルフレンド社          仲間とみがかく看護のコミュニケーションセンス 医歯薬出版(株)</p>				
参考図書	適宜紹介する				

統合分野

科目	国際看護論 International Nursing	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	スズキ マリ 鈴木真理 加藤 篤子 川本貴子 外部講師
		実施時期	3学年 通年		
授業概要	<p>国際的な見地から保健・医療・福祉の状況を理解し、看護に期待される役割および今後の課題について展望するとともに、災害時に対応できる看護の基礎的能力を養う。</p> <p>授業の中に講義と演習(活動)を盛り込み、段階的に知識を実践につなげて、災害時に対応できるための基礎的能力が養えるように展開する。</p>				
回	授業計画			方法	テスト等
1	国際看護の概念と対象			講義・演習	
2	看護における文化			演習	
3	世界の健康課題			演習	
4	世界の保健医療システムと課題			演習	
5	日本の看護師からみた国際看護の実践の場			演習	
6	災害および災害看護に関する基礎的知識			講義・演習	
7	災害発生時の社会の対応やしきみ、国際看護			講義・演習	
8	災害時の被災者および援助者の心理			講義・演習	
9	災害各期における看護活動			講義	DMAT
10	災害時の備え			講義	静岡エネルギー 環境懇談会
11	災害時の備え			講義	
12	災害時に必要な技術			講義・演習	
13	病院における災害看護			講義・演習	
14	災害看護における倫理・教育・研究			講義・演習	
15	各論			講義・演習	
備考	<p>※配布された資料は全て熟読し、内容を理解して授業に臨むこと</p> <p>※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる</p> <p>※提出物に関して、期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる</p>				
評価	授業態度、課題レポート、筆記試験、ルーブリックにより総合的に判断する。				
使用テキスト	系統看護学講座 統合分野3 災害看護学・国際看護学			医学書院	
参考図書	<p>一戸真子:国際看護 言葉・文化を超えた看護の本質を体現する 学研</p> <p>近藤麻理:知って考えて実践する国際看護 医学書院</p> <p>小原真理子・酒井明子監:災害看護～心得ておきたい基本的な知識 南山堂</p> <p>黒田裕子・酒井明子監:災害看護～人間の生命と生活を守る メディカ出版</p> <p>南 裕子・山本あい子編:災害看護学習テキスト(概論編) 日本看護協会出版会</p> <p>南 裕子・山本あい子編:災害看護学習テキスト(実践編) 日本看護協会出版会</p> <p>NPO災害人道医療支援会 災害看護研修委員会編:グローバル災害看護マニュアル</p>				

統合分野

科目	看護実践統合演習 Nursing Practice Integrated Seminar	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	杉谷美幸 スギヤミユキ
		実施時期	3学年 通年		
授業概要	ポートフォリオやシミュレーション教育を通して自己の看護実践能力を総合的に評価し課題を見出す。複合技術試験とデブリーフィング、複数患者を想定したマネジメント力やチーム医療における役割を踏まえ、看護実践能力を養う。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	看護実践統合演習概要、ポートフォリオ、看護実践能力	講義			
2	臨床判断トレーニング①	講義・GW	課題提出		
3	臨床判断トレーニング②	講義・GW	課題提出		
4	事例の看護実践とデブリーフィング①	GW	課題提出		
5	事例の看護実践とデブリーフィング②	GW	課題提出		
6	事例の看護実践とデブリーフィング③	GW	課題提出		
7	事例の看護実践とデブリーフィング④	GW	課題提出		
8	複合技術試験①	試験	課題提出		
9	複合技術試験デブリーフィング	試験	課題提出		
10	複合技術試験②	試験	課題提出		
11	複合技術試験デブリーフィング	試験	課題提出		
12	看護マネジメント、多職種連携演習	GW	課題提出		
13	看護マネジメント演習①	GW	課題提出		
14	多職種連携演習①	GW	課題提出		
15	凝縮レポート発表	発表	課題提出		
備考	※配布された資料は全て熟読し、内容を理解して授業に臨むこと ※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる				
評価	複合技術試験60点、他40点は課題提出の配点とし、 授業態度、課題レポートをルーブリックにより総合的に判断する GWに参加していない場合、その課題は0点とする 提出遅れの場合は、その提出物の点数は0点、未提出の場合は、0点と-1点				
使用テキスト	香春知永、齋藤やよい:基礎看護技術、南江堂. 坂本すが、山元友子 監修:決定版ビジュアル臨床看護技術、照林社. NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020 医学書院. ※ 上記準備できるものでよい、授業中に示す				
参考図書	鈴木敏恵:ポートフォリオとプロジェクト学習、医学書院. * これまで基礎看護学、成人・老年看護学、在宅看護論で使用したテキスト全て				

統合分野

科目	在宅看護論実習	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	キムラ ヒロミ 木村弘美  アライ ミサ 栗井美里
	Home Nursing Training	実施時期	2年次 後期 3年次 通年		
授業概要	<p>訪問看護の実際を通して、対象である在宅療養者とその家族を理解し、在宅看護の方法を学ぶ。</p> <p>また、地域保健活動の実際を通して、地域における看護職の役割や地域包括ケアシステムを理解し、社会資源の活用や関連機関・職種との連携の必要性を学ぶ。</p>				
授業計画	<p>訪問看護実習（4日間）</p> <p>1 訪問看護ステーションにおいて、訪問看護の実際を見学、援助する。</p> <p>地域連携室実習（1日間）</p> <p>1 病院連携室における退院支援の方法を理解する。</p> <p>地域実習（3日間）</p> <p>1 地域で行われている保健活動に参加し、看護職としての役割を考える。</p> <p>2 地域包括ケアシステムの実際を知り、多職種の連携を学ぶ。</p> <p>学内実習（1日間）</p> <p>1 自己の学びを振り返り、実習のまとめを発表する。</p>				
評価	別に記載する実習要綱の内容に沿って評価する。				
使用テキスト	<p>臺有桂 他：ナーシンググラフィカ 地域医療を支えるケア MCメディカ出版</p> <p>臺有桂 他：ナーシンググラフィカ 在宅療養を支える技術 MCメディカ出版</p> <p>在宅看護概論、援助論Ⅰ、援助論Ⅱ、技術演習で使用した講義ノートや資料など</p>				
参考図書	<p>解剖生理学、病態学、薬理などのテキストならび参考文献、資料</p> <p>老年看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学などの専門分野テキストや資料</p> <p>国民衛生の動向、社会福祉、関係法規のテキストや資料</p>				



統合分野

科目	看護の統合と 実践実習	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	看護教員
	Integration of Nursing and Practice Seminar	実施時期	3年次 後期		
授業概要	看護マネジメント能力を養うとともに、各領域の対象特性を踏まえた看護実践を統合することができる。				
授業計画	<p>内容ABCをスケジュールに沿って行う。</p> <p><b>【内容A】</b>            病院組織における業務管理、人事管理、物品管理、安全管理、倫理、教育がどのように行われているか説明を受け理解する。看護部におけるマネージャーの役割を看護部長、看護師長から説明を受け、ともに行動することでスキルを学ぶ。診療報酬について説明を受け、経営の視点を学ぶ。</p> <p><b>【内容B】</b>            チームリーダーとスタッフの役割、及び1日の看護業務の流れの説明を受け、それぞれの側から行動を共にすることでチームマネジメントの実際を学ぶ。チームカンファレンス、他部門との連絡調整の実際を知り、医療チームにおける看護師の役割を学ぶ。看護チームに所属し、複数患者を対象とした行動計画を看護観に基づき立案し、看護を実践することでチームマネジメントのスキルを学ぶ。日勤から夜勤(13時～21時30分)にかけての看護業務を見学し、各勤務の継続性や夜間帯の患者及び家族の理解を深める。</p> <p><b>【内容C】</b>            看護チームに所属し、到達していない技術水準にあるものを実践することで技術力を高める。機会があれば、看護チームにおける比較的ケア度の高い患者を受け持ち、統合的看護実践能力を高める。</p> <p>最終日に学内で実習のまとめ、発表をし、学びの共有化を行う。</p>				
評価	<p>*4/5以上の出席および別紙評価表による。            ただし、実習前アンケートを事前に提出し、実習開始前にオリエンテーションを受けていること            留意事項を遵守している場合に限る。</p>				
使用テキスト	<p>香春知永、齋藤やよい:基礎看護技術、南江堂。            坂本すが、山元友子 監修:決定版ビジュアル臨床看護技術、照林社。            NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020 医学書院。            吉田千文、志田京子、手島恵、武村雪絵 編集:ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理、MCメディカ出版。            松下由美子、杉山良子、小林美雪 編集:ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全、MCメディカ出版。</p>				
参考図書	<p>*これまで基礎看護学、成人・老年看護学で使用したテキスト全て            知っておきたい変更点NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020</p>				

科目	キャリア形成Ⅲ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当教員	マツウラトモヨ 松浦朋代
	Career formationⅢ	実施時期	3年次 通年		アライミサト ウチヤマユミ 粟井美里 内山由美
授業概要	看護を取り巻く社会の動向に関心を持ち、生涯学習の視点からキャリアデザインを充実させ進路を決定する。また看護師国家試験対策において、自己教育力やチーム力を発揮し、看護実践能力を向上させる。				
授業計画	<p>1 ガイダンス(3年次ガイダンス、履修について、オリエンテーション)</p> <p>2 キャリア支援(キャリアポートフォリオ、現在の自分)</p> <p>3 キャリア支援(進路決定と就職支援への取り組み、自己推薦文)</p> <p>4 キャリア支援(現場や社会が求める人材とは)</p> <p>5 キャリア支援(就職試験支援)</p> <p>6 キャリア支援(就職試験支援)</p> <p>7 国試1 国家試験対策オリエンテーション</p> <p>8 国試2 模擬試験振り返り学習会</p> <p>9 国試3 模擬試験振り返り学習会</p> <p>10 国試4 模擬試験振り返り学習会</p> <p>11 国試5 模擬試験振り返り学習会</p> <p>12 国試6 今後の対策および学習方法の検討</p> <p>13 国試7 模擬試験振り返り学習会</p> <p>14 国試8 第113回看護師国家試験オリエンテーション</p> <p>15 キャリア支援(キャリアアップの実際)</p>				
評価	別紙ルーブリックの認定基準による。				
使用テキスト	<p>学生便覧</p> <p>履修案内</p> <p>*講義中に資料配布</p>				
参考図書	<p>1) 文部科学省:キャリア教育とは何か-文部科学省ホームページ</p> <p>2) 西岡加名恵、石井英真、田中耕治:新しい教育評価入門、有斐閣コンパクト、2016.</p> <p>3) 西岡加名恵:教科と総合学習のカリキュラム設計、図書文化、2016.</p> <p>4) 西岡加名恵:教科と総合に活かすポートフォリオ評価法、図書文化、2015.</p> <p>5) 宮本浩子、西岡加名恵他:ポートフォリオ評価法 実践編、日本標準、2004.</p> <p>6) 教科「職業とキャリア」一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団、2015.</p> <p>7) 鈴木敏江:アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する、医学書院、2016.</p>				